

# 2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた取組状況について

平成27年6月  
内閣オリパラ室

## 【概要】

- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会は大変暑さが厳しい期間に開催され、また、多くの外国人が訪れることが予定されている。このため、アスリート・観客が過ごしやすい環境を整備するため、競技会場やその周辺のみならず街づくりの一環としての暑さ対策をパッケージ化して進めていく。
- 第1回：5月22日に開催

## 関係省庁等連絡会議

座長 — 平田竹男 内閣官房参与

構成員 — ○内閣官房オリパラ室、消防庁、文部科学省研究開発局、文部科学省スポーツ・青少年局、厚生労働省（健康、食品安全、災害対策担当）、経済産業省商務情報政策局、国土交通省道路局、気象庁総務部、環境省水大気環境局、環境省総合環境政策局環境保健部（審議官級）  
○東京都環境局次長、東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設輸送担当部長  
○組織委員会国際渉外・スポーツ局長、大会準備運営局長、会場整備局長、施設整備調整局長

## 様々な暑さ対策をパッケージ化

1. 競技会場等の暑さ対策

2. 多様な情報発信・啓発活動の実施

3. 救急医療体制の整備

4. 熱中症対策等に係る予測技術開発

5. 暑さ対策に係る技術開発等

## 1. 競技会場等の暑さ対策

- 国立競技場の暑さ対策
- 新設会場・仮設会場等の暑さ対策
- マラソン・競歩沿道等の暑さ対策
- 夏期の大規模イベント等での熱中症対策指針の策定及び検証

## 2. 多様な情報発信・啓発活動の実施

- 多言語による啓発活動の推進
- 外国人等に対する熱中症等関連情報の発信
- ウェブサイト等を通じた情報発信

## 3. 救急医療体制の整備

- 観客等の熱中症に係る救急体制の整備
- 外国人の円滑な救急搬送に向けたツールの整備
- 病院における外国人受入を含めた医療体制の整備
- 大会運営における応急体制の整備

## 4. 熱中症対策等に係る予測技術開発

- 都市の熱環境解析を踏まえた暑さ指数の効果的な示し方
- 国民・外国人等に利用される気象情報に係る予測精度の向上・充実
- ゲリラ豪雨等予測の高度化

## 5. 暑さ対策に係る技術開発等

- 暑さ対策に資する技術開発・調査研究
- 暑さ対策に係る技術の検証・普及

## 今後のスケジュール

### ○平成27年7月 第2回関係省庁等連絡会議

- ・関係省庁等における取組状況及び今後の取組方針の報告

### ○平成27年8月 第3回関係省庁等連絡会議

- ・中間とりまとめ

以後、適宜検討を継続

※国、組織委員会のレガシーに適宜反映

※関連技術のPRイベントを適宜実施